

訓練カリキュラム

訓練実施機関名: 株式会社スプリングス

訓練実施施設名: 就職支援センターはな 高槻駅前校

問合せ先住所: 〒 5 6 9 - 0 8 0 3
大阪府高槻市高槻町4-3 高槻サタリービル4F

問合せ電話番号: 072-685-3380

■土日祝日訓練の有無:

□ 全日あり / □ 一部あり / □ なし

■法定講習に係る補講:

□ あり □ なし / □ 有料 □ 無料

■租モデルによる訓練:

□ あり □ なし

■合同開催による訓練:

□ あり □ なし

訓練の種類	✓	実践コース (05 介護・医療・福祉分野)			就職を想定する職業・職種				
		職場復帰支援コース (※基礎コースのみ)	託児サービスコース	短時間訓練コース (月80時間以上100時間未満)	高齢者施設での介護職 訪問介護 障がい者施設での支援員 視覚障がい者のガイドヘルパー				
		「企業実習促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入	○	「職場見学等促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入					
訓練科名	介護職員初任者研修そして介護福祉士実務者研修&障がい福祉科								
募集期間(予定)	令和7年10月31日 ~ 令和7年11月20日								
選考日(予定)	令和7年12月1日								
選考方法	✓	面接	筆記試験	その他 ()					
選考結果通知日	令和7年12月8日								
訓練期間	令和7年12月25日 ~ 令和8年6月24日 (6 か月)					(訓練日数 112 日)			
訓練時間	9 時 30 分 ~ 16 時 00 分				訓練定員	25 名			
訓練対象者の条件	特になし								
訓練推薦者 (特定の者を指定する場合のみ)	新規学校卒業者 被災者		ニート等の若者 外国人		障害者 母子家庭の母等 その他 ()				
訓練目標 (仕上がり像)	専門的な知識・技術を修得し、介護施設、障がい者施設、居宅において、施設介護職員・訪問介護職員及び、障がい者助成職、支援員となる人材を育成する。								
訓練修了後に取得 できる資格	名称 (介護職員初任者研修)	認定機関 (株式会社スプリングス)	任意受験						
	名称 (介護福祉士実務者研修)	認定機関 (株式会社スプリングス)	任意受験						
	名称 (同行支援従業者養成研修(一般課程))	認定機関 (株式会社スプリングス)	任意受験						
	名称 (普通救命講習Ⅰ)	認定機関 (高槻市消防署)	任意受験						
	名称 ()	認定機関 ()	任意受験						
① IT分野の訓練における基本奨励金の特例措置(IT特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)									
② WEBデザイン訓練における基本奨励金の特例措置(WEB特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)									
③ DX推進スキル標準対応の訓練における基本奨励金の特例措置(DSS特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)									
訓練内容	訓練概要		訪問介護や施設介護における利用者の状況に応じた身体の世話や日常生活の自立支援、医療的ケア、視覚障がい者に関する知識及び技能、技術を学び、介護施設、福祉施設での就業支援を実施する。日によって訓練時間が異なります。詳細は訓練実施機関にお問合せ下さい。【職場見学等推進】						
	科目		科目の内容						
	科目		訓練時間						
	学 科	開講式・オリエンテーション・修了式	開講式(1H)・オリエンテーション(2H)・実務者オリエンテーション(2H)・修了式(2H)						
		安全衛生	心身の健康管理、整理整頓の原則、体操の必要性				1時間		
		同行支援の知識	視覚障がい者(児)福祉サービス、同行支援の制度と従業者の業務、障がい・疾病の理解、障がい者(児)の心理、情報支援と情報提供、障がい者の人権、代筆・代読の基礎知識、同行支援の基礎知識				17時間		
		職務の理解	初任者研修:介護の概念、介護保険サービス(居宅・施設)の概要、働く側からみた「介護の仕事」、働く現場における仕事の内容・特徴				8時間		
		介護における尊厳の保持・自立支援	初任者研修:人権と尊厳の保持・人権の考え方、QOLの考え方、ノーマライゼーションの考え方、虐待防止、自立支援、自己決定・自己選択、介護予防				12時間		
		介護の基本	初任者研修:介護環境の特徴の理解、介護の専門性、介護に関わる職種、職業倫理、介護における安全の選択、事故予防・安全対策、感染対策、介護職の心身の健康管理				8時間		
		介護・福祉サービスの理解と医療の連携	初任者研修:介護保険制度、医療との連携とリハビリテーション、障がい者福祉制度、障がい者総合支援制度、個人の権利を守る制度の概要				12時間		
		介護におけるコミュニケーション技術	初任者研修:介護におけるコミュニケーションの意義・目的・役割、コミュニケーションの技法、道具を用いたコミュニケーション、利用者・家族とのコミュニケーション、記録による情報の共有化、報告、コミュニケーションを促す環境				8時間		
		老化の理解	初任者研修:老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴、老化に伴う心身機能の変化と日常生活への影響、高齢者の疾病と生活上の留意点、高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点				8時間		
		認知症の理解	初任者研修:認知症の概念、概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント、認知症の人の生活障がい、心理・行動の特徴、認知症の利用者への対応、家族への支援				8時間		
		障がいの理解	初任者研修:障がいの概念とICF、障がい者福祉の基本理念、身体障がい、知的障がい、精神障がい、その他の心理機能障がい、家族への支援				5時間		
		振り返り	初任者研修:研修を通じて学んだこと、今後継続して学ぶこと、在宅の生活・利用者の多様性、介護の工夫の現状と自立に向けた考え方				5時間		
		修了評価	筆記試験(介護職員初任者研修事業実施要領に基づく全科目筆記試験)				2時間		
		社会の理解Ⅱ	実務者研修:生活と福祉、社会保障制度、障がい者自立支援制度、介護実践に関する諸制度、個人情報保護法、SNSを利用し情報発信する際の個人情報取り扱いについての注意事項				30時間		
		コミュニケーション技術	実務者研修:介護におけるコミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション、介護ソフトの導入によるスマートフォン、タブレットを用いた記録の方法				20時間		
		発達と老化の理解Ⅰ	実務者研修:老化に伴う心身の変化と日常生活への影響、老化に伴うからだの変化と日常生活の影響				10時間		
		発達と老化の理解Ⅱ	実務者研修:人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病と留意点				20時間		
	介護の基本Ⅱ	実務者研修:介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護福祉士の安全				20時間			
	認知症の理解Ⅱ	実務者研修:医学的側面から見た認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実態				20時間			
	障がいの理解Ⅱ	実務者研修:医学的側面から見た障がいの理解、障がい児者への支援の実態				21時間			
	こころとからだのしくみⅡ	実務者研修:人間の心理、人体の構造と機能、身体の仕組み、心理・認知機能を踏まえた介護におけるアセスメント・観察のポイント				18時間			
	医療的ケア	実務者研修:医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)、経管栄養(基礎的知識・実施手順)				42時間			
	就職支援	ジョブ・カード作成指導、履歴書、職務経歴書の作成、面接指導				14時間			
	実 技	同行支援の演習	あいさつから基本姿勢と留意点、してはいけないこと、歩行、曲がる、狭い場所の通過、ドアの通過、いすへの誘導、段差・階段、環境に応じた歩行、エスカレーター、エレベーター場面別支援技術、交通機関の利用				19時間		
		こころとからだのしくみと生活支援技術	初任者研修:理論と法的根拠に基づく介護、学習と記憶の知識、感情と意欲の知識、自己概念と生きがい、人体の各部の名称と働きに関する知識、骨・関節・筋に関する基礎知識、中枢神経と末梢神経に関する知識、家事と生活の理解、快適な居住環境整備と介護、こころとからだのしくみと自立に向けた介護(整容、移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、睡眠)、終末期介護、介護過程の基礎的理解、総合生活支援技術の事例演習				90時間		
		介護過程Ⅱ	実務者研修:利用者の状態(障がい、要介護度、医療依存度、居住の場、家族の状況)における事例、事例における介護過程の展開、観察のポイント、安全確保・事故防止、家族支援、他機関との連携考察				25時間		
		介護過程Ⅲ	実務者研修:介護過程の展開の実例、介護技術の評価				47時間		
		こころとからだのしくみⅡの演習	実務者研修:介護・連携の留意点(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護)				42時間		
		医療的ケア演習	実務者研修:モデル人形を使用し、喀痰吸引演習(口腔、鼻腔、気管カニューレ内部)、経管栄養演習(胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養)、救急蘇生法演習				42時間		
		企業実習前の演習	介護記録の記載方法				3時間		
救命救急		救命措置、心肺蘇生、AEDの取り扱い				3時間			
企業実習		実施しない / ✓ 実施する				72時間			
職場見学・職場体験・職業人講話		【職場見学】	介護施設の見学 3時間×1回 就労移行支援施設の見学 3時間×1			6時間			
訓練時間総合計	658時間	学科	309時間	実技	271時間	企業実習	72時間	職場見学等	6時間
受講者の負担する費用	教科書代	0円							
	その他 ()								
	備考 (企業実習先、職場見学への交通費及び健康診断料は別途発生)								
指導方法	訓練形態(個別指導・補講を除く)	✓ 全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する							
	施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	オンラインによっても指導する(当該日通所不可・単独型) オンライン計 時間							
	受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	グループごとに介護ベッド、車椅子の訓練機材を用意し、また企業実習時間を多く取り込み、実際の介護現場で、経験することで実技技能を修得できるように配慮している。 ・定期的、また随時、個別相談会及びキャリアコンを実施。受講生の習熟状況の把握に努め、きめ細かい指導に努める。 ・介護技術のビデオ映像をネット配信することにより、自己学習できるように配慮している。							



訓練カリキュラム(企業実習用)			
訓練 内容	科目	科目の内容	訓練時間
	こころとからだのしくみと生活支援技術	介護技術の基本	23時間
	介護過程Ⅱ	観察のポイント、安全確保・事故防止、家族支援、他機関との連携考察	18時間
	介護過程Ⅲ	介護過程の展開の実際、介護技術	30時間
その他	安全衛生	心身の健康管理、救命装置の設置場所確認、うがい・手洗いの徹底、衛生用具の使用、安全姿勢	1時間